

重要文化的景観 —重要な構成要素の紹介 3—

オプシヌプリ（二風谷区域：アイヌの伝統を伝える山野と集落の景観）

沙流川流域にはさまざまなアイヌ伝承があります。国道 237 号カンカン待避所から見て沙流川対岸の山は、アイヌの神様オキクルミが技くらべの時に、ヨモギの矢で岩山を射抜いたという穴があります。昔は本当に丸い穴になっていたのですが、いつしか崩落して凹みになってしまったと言われています。夏至の日を中心に前後の数日間は、オプシヌプリのくぼみに沈む夕日を見ることができます。この夕日を一目見ようと、国道 237 号沿いのカンカン待避所(二風谷)には、町内外からたくさんの方が集まります。2019（平成 31）年 3 月には、びらとり温泉ゆからのアプローチ壁面にオプシヌプリを觀賞するための解説・案内サインを設置しました。

こうした情報も参考に、平取町を代表するアイヌ伝承地をぜひご見学ください。（長田佳宏）



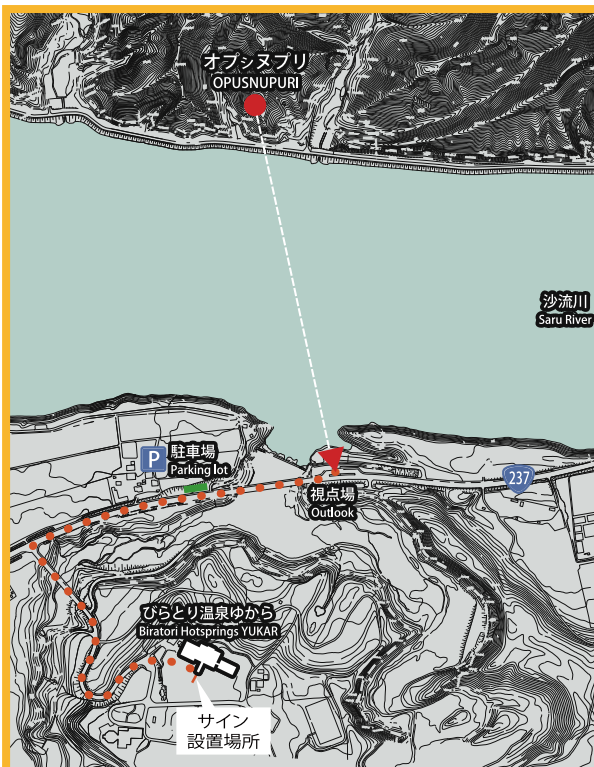
オプシヌプリ（穴があく・山）は、にぶたに湖右岸側の国有林に所在する（国道 237 号カンカン待避所から撮影）



穴に沈む夕日（2019 年 6 月 23 日撮影）



びらとり温泉ゆからに設置した解説・案内サイン



びらとり温泉ゆからから視点場までは徒歩で約 12 分



↑オプシヌプリの
詳しい伝承内容は
こちら



↑オプシヌプリ駐
車場の位置情報は
こちら